

坐薬の使用法 **小児**

ポイント1



子供をあお向けに寝かせましょう。膝をまげるように両足を上に持ち上げ、足を押さえましょう。あらかじめ、坐薬の先端を手で暖めて少しやわらかくしたり、水で濡らしたりした後、坐薬のとがった方を肛門にあててからゆっくりと挿入しましょう。大人の人差し指の第一関節が入るくらいまで直腸に押し込むと、ストンと吸い込まれるような感じになります。そこまで入れることが大切です。



坐薬は製剤によって冷所に保存すべきものと、その必要がないものがあります。適切に保存することが大切ですが、わからないときは冷蔵庫で保存しましょう。

肛門の近くには知覚神経があるので、坐薬は知覚神経がないところまで挿入しないと、便がつかえているような感じがして息んでしまい、薬を出してしまうことがあります。できるだけ排便をすませてから、奥まで挿入しましょう。

ポイント2



坐薬を入れてから、1~2分間はティッシュで押さえて、坐薬が出てこないことを確認しましょう。数分後にもう一度、坐薬が出ていないことを再確認しましょう。

*便と一緒に出てしまうことがあるため、できるだけ排便後に挿入するようにしましょう。